

特集

応援します！

あなたの創業

長野県では、今年度からスタートした総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン」において「日本一創業しやすい環境づくり」を目標に掲げ、創業を積極的に支援しています。

皆さんも創業にチャレンジしてみませんか。



創業 = 新しい価値の創造

「創業」は単に企業を設立することではなく、思いや夢を実現し、それまでなかった「新しい価値」を社会に提供すること。

そうして生まれた「新しい価値」は、地域の活性化に

つながり、次世代の長野県を支える新たな産業を生み出す基盤となります。

あなたの思いや情熱が、明日の長野県を支える力になる。その可能性を創業は秘めています。

創業は地域を面白くする原動力

コワーキングスペース・ハナラボ代表
井上 拓磨さん



■コワーキングスペース

創業を目指す人など様々な業種、年齢の人々が集まり、仕事をしたり、ノウハウやアイデアが共有できる交流型オフィスのこと。県内にはハナラボの他に、ノウアーズ(松本市)、スワボ(諏訪市)、モトマチ(須坂市)、デン(伊那市)などがあります。

創業は地域になかった魅力を生み出す手段。若い创业者の背中を見て、「自分もやってみよう」という人が現れる。そういう連鎖が、地域をもっと面白くする原動力になると思っています。

ハナラボは何かを始めたい人を結び付ける場所。ここにすれば同じ目線で語れる仲間がいます。仲間と語れば、もやもやとした悩みが課題としてはっきりしたり、新しいアイデアが生まれるきっかけにもなります。課題が明確になった後の解決は行政や商工団体の窓口や支援を活用してもらい、コワーキングスペースは人と人とのつながりを生かして、それ以前の部分を継続的に支援する。そんな役割分担でお互いに協働しながら10年後、20年後に若者が活躍しつづける地域になれば良いですね。

コワーキングスペース・ハナラボ
住所：上田市常田2-27-17 2階
電話：0268-75-5867
URL：http://hanalab.co/

创业者の声を紹介

株式会社 たび寅

代表取締役社長 秋山 晶子さん

旅行雑誌の営業記者のときに、集客につながればとサービスで始めたホテル・旅館のホームページ制作。旅行雑誌の集客効果を少しでもあげようと無料でホームページを作成したのが2004年。お客さまのためにと走り続けるうちに、気が付けば県外にも支社を持つようになりました。

創業は新しい世界につながる扉。「やり遂げたい」という強い気持ちがあれば誰でも簡単に開けられます。女性の消費者としての視点や母としての経験も創業の強みになります。

二代目の社長には当たり前のノウハウであっても、創業社長にとってはすべてが手探り。さらに起業したてのころは無い無い尽くしの連続です。お金が無い、人脈が無い、人材が無い…

そんな中で最短距離で成果をあげるために、行政などの支援窓口をまずは利用してみるのも効果的ですね。



株式会社 たび寅
住所：諏訪市沖田町2-52 平成沖田ビル3階
電話：0266-58-8969
URL：http://www.tabitora.co.jp/index.htm

あなたの 創業をお手伝い

ご利用ください **県の支援窓口**

県では創業のための総合相談窓口や創業支援施設を設けて、創業を考えている皆さまにさまざまなサポートを実施しています。

創業をサポートする総合相談窓口 ながの創業サポートオフィス

「何から始めればいいのか分からない」、「創業までの手続きは？」などの疑問に答え、創業に必要なビジネスプランの作成や創業後の経営相談、創業者交流会の開催など創業前から創業後まで一貫したサポートを行うことを目的に平成24年に設置されたのが「ながの創業サポートオフィス」。スタッフがあらゆる業種の創業の相談に応じています。



スタッフからの メッセージ

公益財団法人 長野県中小企業振興センター
経営支援部長 **保坂 哲朗**さん

創業・起業を考える人の「総合案内所」がサポートオフィスです。商工会・商工会議所など県内の支援機関と連携しながら、具体的なアドバイスや支援策の紹介などをさせていただきます。

どんなサービスや商品を、誰に対して、どのように売り込んでいくのか、しっかりとイメージを作ることが創業への第一歩です。まずはお気軽にご相談ください。

ながの創業サポートオフィス
長野市若里1-18-1
公益財団法人長野県中小企業振興センター内
電話：026-269-7359(受付時間：平日8:30~17:15)
e-mail sougyou@icon-nagano.or.jp

長野県創業支援センター 〔 创业者の研究開発を支援 〕



製造業、ソフトウェア業等を創業する皆さんの研究開発を支援する施設「長野県創業支援センター」。長野県工業技術総合センターに併設されており、専門知識を持った職員による技術的支援を受けやすくなっています。



※募集情報など最新情報はこちらでご確認ください。

長野県創業支援センター URL: <http://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/sougyou/index.html>

まだまだあります。 創業を支える 支援制度！

「ながの創業サポートオフィス」や「長野県創業支援センター」のほかにも、たくさんの支援制度により、皆さんの創業をバックアップします。

特集

応援します！あなたの創業

1 創業について 幅広く学べる機会を提供

〔創業セミナー、創業塾〕

女性、若者、シニアを対象とした「創業セミナー」や財務、労務、事業計画書の作成等が学べる「創業塾」を開催。先輩创业者の実体験から創業に必要な実務まで幅広く学べる機会を提供しています。



公益財団法人 長野県中小企業振興センター「ながの創業サポートオフィス」
電話：026-269-7359 (受付時間 平日 8:30~17:15)

2 創業に必要な資金を融資

〔長野県中小企業融資制度〕
(創業支援資金)

創業を目指す方には、長野県中小企業融資制度(創業支援資金)により自己資金がなくても1,000万円までの範囲内で融資が可能です。
※融資額等の貸付条件は変更される場合がありますので、必ずご確認ください。

商工労働部経営支援課 電話：026-235-7200 (直通)

3 創業間もない中小法人 を応援

〔創業等応援減税〕

県内で新たに創業した中小法人等の法人事業税を3年間課税免除。創業・設立から間もない中小法人を減税という形でサポートします。
※課税免除を受けるには、事前に認定を受ける必要があります。

商工労働部経営支援課 電話：026-235-7195 (直通)

4 技術開発の助言や 製品等の評価試験を実施

〔長野県工業技術総合センター〕

県内4拠点で技術的な課題に関する助言や、保有する高度な設備による製品や材料の評価試験、共同研究開発等を実施しています。

長野県工業技術総合センター 電話：026-268-0602 (代表)

セミナーの開催情報など
最新情報をFacebookで
配信中!

長野県創業・事業引継ぎ支援Facebookページをご覧ください
URL: <http://www.facebook.com/naganoken.sougyou>

自然豊かな信州で夢を形に

お近くの移住・交流相談窓口
をご利用ください

県では東京、名古屋、大阪に「移住・交流センター」、「移住・交流サポートデスク」を設置し、お住まいから仕事のことまでワンストップで対応。創業という夢を信州で実現してみませんか!



- 長野県移住・交流センター
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 2階
電話：03-3214-5655
- 名古屋移住・交流サポートデスク
愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中ビル4階
電話：052-251-1441
- 大阪移住・交流サポートデスク
大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階
電話：06-6341-7006

信州を 選んだ私たち

#11

移住者の声をご紹介します

川島 直樹様
幸子様

中野市

移住された方の体験談を通じて、信州の魅力や移住のポイントをお伝えする「信州を選んだ私たち」。第11回は長野県の北部に位置する中野市に移住され8年になる川島さんご夫妻です。

思い描いてきた古民家での生活を信州で手に入れたお二人にお話を伺いました。

転機は入院

仕事中心の「時間に追われる生活」を続けていましたが、42歳の時に体調を崩して入院しました。入院中の病院のベッドで「このままの生活を続けていいのだろうか」と考えたのが移住のそもそものきっかけでした。

最初は海外への移住を考えました。日本からの移住者が多かった東南アジアは趣味のスキーができないこともあり断念。ならばとヨーロッパで物価の安かったオーストリアやブルガリアへの移住を考え、実際に足を運びました。魅力的でしたが東京から20時間ぐらいかかりましたので、何かあったときに時間がかかるということが心に引っかかりました。

帰りの飛行機の中で二人の住みたい風



景をいたずら書きで絵にしてみると、できあがったのは伝統的な日本の古民家で庭に木があるという昔話にできそうな風景でした。「やっぱり日本人のDNAの中には、こういう風景へのあこがれがあるんだ」と思い、外国への移住はやめることにしました。

それからは古民家とスキーという条件で国内の移住先を探しました。たまたまインターネットで見つけたのが飯山市の「いいやま住んでみませんか課」。当時は移住に熱心な自治体がまだまだ珍しく、他には検索してもヒットしませんでした。

連絡をとると、古民家を案内してくれる地元の農協(中野市豊田地区も管轄)を紹介してくれ、スキーと物件の見学を兼ねて訪れたのが2004年の12月。信州にスキーに来たのは初めてでしたが、山々の間に集落が広がる景色がオーストリアのチロール地方のように素晴らしく「東京から車で行けるところにこんな良いところがあるんだ」と感動したのを覚えています。

農協は何軒もの古民家を案内してくれました。中でも最後に訪れた古民家の真っ白な雪景色の中にある佇まいが何とも言えず購入を決断。2005年の5月に移住することになりました。

移住後の生活

移住してからは、勤めていたころにはできなかった「時計に縛られない生活」を毎日楽しんでいきます。畑づくりなどやることは多いのですが、あせらずに「時間を使うことを楽しむ」心のゆとりがあります。それから12月から5月は念願のスキーざんまいの生活です。近くのスキー場のシーズン券を購入し、多い年はシーズンで100日ぐらいい滑っています。おかげで移住してから準指導員の資格も取得しました。

移住してみて、初めて気付いたのは「コ



ンクリートジャングル」という言葉の意味です。東京で生まれ育った私たちには当たり前前の「土の見えない風景」。そこでは雪解けとともに草木が一斉に芽吹いてくるような「季節感」を感じる事ができません。でもこ

この暮らしでは、それを日々感じる事ができます。

古民家を住み継いでいく

古民家に実際に暮らしてみると確かに不便なところもあります。でもそれ以上に使われている木の素晴らしさや一日中日が差し込むように考えられた家の向きなど驚きや発見が数多くありました。

さらに、暮らしていると建物に合わせて生活スタイルも変わります。例えば、ドアを開けて立ったままお客様を迎えるのではなく、座って出迎えるようになります。住むことにより建物とともに受け継がれてきた「日本の良さ」も取り戻せるのが古民家だと思っています。



築200年以上の古民家を再生したご自宅

そういう古民家のもつ素晴らしさを多くの人に知ってもらうために「北信州・ふるさと古民家を住み継ぐ会」というNPO法人を設立。私たちの家や暮らしを実際に見ていただくことで「古民家でもこんな暮らしができる」ということを感じていただき、この地域に残る古民家が1軒でも住み継がれるようこれからも活動していきたいと思っています。

■中野市

http://www.city.nakano.nagano.jp/index_top.asp

移住・交流に取り組む
市町村のご紹介

小海町

移り住むなら わが街へ



松原湖高原から望む八ヶ岳

長野県の東部、南佐久地域のほぼ中央に位置する小海町。日本三大原生林にあげられる白駒の池周辺の森林や四季折々の表情を見せる松原湖高原など八ヶ岳山麓に抱かれた自然豊かな町です。

移住をお考えの方に「プチ田舎暮らし体験」をしていただくツアーを隣の南相木村と共同で今年から開催。町の魅力をぜひ肌で感じてください。

■連絡先: 小海町総務課企画係

■U R L: <http://www.koumi-town.jp/office/archives/cat105/>

■電話: 0267-92-2525

■E-mail: koumi@koumi-town.jp

しあわせ信州創造プラン推進中!

長野県では、「しあわせ信州創造プラン(長野県総合5か年計画)」に基づき、移住者の受け入れを積極的に進めています。
▶詳しくはこちら <http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/shisaku/shinshusozo/index.html>